Pray for Peace

パルシステム東京平和活動レポート（2017年度）

私たちは ともに、
くらし、つくる、
平和な未来に向けて

JAPAN'S SDGS AWARD 2017
第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

ヒバクシャ国際署名で協同してきたICANがノーベル平和賞を受賞しました。ICAN国際運営委員の川崎哲さんは「署名に協力した人みんなでもらった賞」と語っています。一人ひとりの平和への想いや願いをつなぐ活動が世界に認められ、個人ではない、ネットワークが受賞しました。昨年パルシステムグループは「第一回ジャパンSDGsアワード」を受賞しましたが、SDGsも人々のネットワークで世界を変えようという動きで、私たちがずっと行ってきた活動と同じです。

一人ひとりの力は小さくてもみんなの力を合せると大きな力となる、という古くて新しいテーマを今一度確認していきたいと思います。

パルシステム東京理事長
野々山 理恵子

※SDGs…2015年に国連で採択された国際目標。貧困や飢餓の根絶、気候変動への対策など17の目標を定めています。SDGsアワードは、SDGsの達成に向けて優れた取り組みを行う企業・団体を表彰する制度。

トピックス ～核兵器のない平和な世界をめざして～

【学ぶ】平和スタディツアーで核兵器の悲惨さを次世代へつなぐ

戦後72年、私たちは被爆体験を直接聞くことができる最後の世代と言われています。戦争を知らない私たちが核兵器の悲惨さを学び、次世代につないでいくことが平和な未来へとつながります。
パルシステム東京では、毎年、原爆が投下された広島・長崎を訪れる平和スタディツアーを開催しています。2017年度も、被爆者の声を聞き、戦跡をめぐり、核兵器廃絶への想いを共有する旅となりました。

ヒロシマ平和スタディツアー

平和祈念式典に参列した子どもたち。平和記念公園内にある原爆慰霊碑に献花し、平和の想いをつなぎました。

被爆者との交流の場では、紙芝居を使った講演を通じて核兵器の悲惨さを学びました。

ナガサキ平和スタディツアー

長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典にて被爆者代表による「平和の誓い」を聞き、核廃絶への願いを共有しました。

原爆資料館にてボランティアガイドが子どもたちにも分かりやすく説明してくれました。

【行動する】ヒバクシャ国際署名

「ヒバクシャ国際署名」は、被爆者の呼びかけによる初めての署名活動です。国際法で禁止されていない唯一の大量破壊兵器である核兵器に対し、国や宗教、イデオロギー、世代を超えて「核兵器の禁止・廃絶」の一点のみを訴えています。平均年齢80歳を超えた被爆者の呼びかけに応える形で運動が広がっており、パルシステム東京でも、組合員から41,685筆（パルシステム全体では181,208筆）の署名が寄せられました。

ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー・林田光弘氏による学習会を実施。

パルシステム東京組合員から寄せられた署名は41,685筆

学ぶ

平和について学び、考えるきっかけの場づくりとして
学習会や憲法カフェなどの取り組みを広げています。

平和学習会

谷口真由美さんに聞く！憲法から平和を考える「憲法、読まなソンしますで！」

講師　谷口 真由美 氏
（大阪国際大学准教授、facebook「全日本おばちゃん党」代表代行）

講演「日米外交の視点から見た沖縄問題」と映画「標的の島 風（かし）かたか」

講師　猿田 佐世 氏
（新外交イニシアティブ（ND）事務局長、弁護士、パルシステム東京有識理事）

沖縄平和学習会

オキナワを知ろう！元高校教員による「オキナワ平和学習会～沖縄戦と基地～」

講師　塚田 勲 氏
（「未来をひらく歴史」学習会講師、元都立高校教員、元都立大学講師）

組合員による平和活動

国際協力NGOによる出前講座「ピースカフェ」が19の組合員グループ（委員会）で開催されました。カカオから作る手作りチョコレートワークショップやパレスチナ料理などの講習会を通じて、世界の問題を考える機会となりました。

APLAによる「カカオから作る手作りチョコレートワークショップ」（北A委員会）

その他にも、平和をテーマに様々な企画に取り組みました。

- 平和を学ぶ施設見学「おでかけピースカフェ」3委員会で開催
- 弁護士による「憲法カフェ」6委員会で開催
- 身近な戦跡めぐり
- 平和をテーマとした学習会や映画上映会

…他

エコ＆ピースナビゲーター

6月から定期発行を開始した情報誌「エコ＆ピースナビゲーター」。環境と平和に関連する情報を組合員に発信しています。

〔主な記事〕

- 平和カンパ報告
- 核兵器をなくすことはできるの？
- 行ってみよう 身近な戦跡
- 高陽坡州ドゥレ生協との日韓交流とは？

…他

つながる

平和な世界を目指し、国内外で活動するNGOや生協をはじめとした他団体などとの協力、市民交流を軸にした国際連帯活動に取り組んでいます。

世界の厳しい状況にある子どもたちを組合員カンパで支援

平和カンパ

紛争や飢餓、難病などで苦しむ世界の子ども達を支援する「平和カンパ」。今年は組合員から843万9,799円のカンパ金が寄せられました。

（単位：円）

プロジェクト名	団体名	2017年度贈呈額
アフガニスタンの子どもたちへ	ペシャワール会	1,366,830
イラクの子どもたちへ	日本イラク医療支援ネットワーク	1,122,222
シリア難民の子どもたちへ	AAR Japan（難民を助ける会）	1,309,709
タイ国境の難民の子どもたちへ	シャンティ国際ボランティア会	1,118,569
チェルノブイリの子どもたちへ	チェルノブイリ子ども基金	1,109,619
パレスチナの子どもたちへ	パレスチナ子どものキャンペーン	1,309,118
南アフリカの子どもたちへ	日本国際ボランティアセンター	1,103,732
	合計	8,439,799

各団体を訪問し、贈呈式を実施（写真：JIM-NETでの贈呈式）

世界の厳しい状況にある子どもたちを組合員カンパで支援

書損じハガキ等の回収キャンペーン

書損じはがきや切手など、家庭に眠る不用品を寄付する国際協力活動。2つのNGOと連携して取り組みました。

ハンガー・フリー・ワールド
回収数：3,112件
換金額 6,343,681円
▶飢餓に苦しむ人々の支援へ

シャプラニール＝市民による海外協力の会
回収数：3,095件
換金額 5,999,121円
▶家事使用人として働く少女などの支援へ

組合員による仕分けボランティア企画も開催

ロヒンギャ難民緊急支援カンパ

ミャンマーからバングラデシュに避難し、劣悪な環境の難民キャンプで生活するロヒンギャ難民に対する支援を行いました。

（単位：円）

贈呈先団体名	カンパ額	支援内容
AAR Japan（難民を助ける会）	400,000	コックスバザール難民キャンプ・越冬支援、公共トイレ等の施設建設
シャプラニール＝市民による海外協力の会	400,000	クトゥパロン難民キャンプ、バルカリ難民キャンプ・物資支援
AMDA	400,000	クトゥパロン難民キャンプ・医療支援

避難生活を続けるロヒンギャの子どもたち

その他、NGOとの共催企画や、東京都生協連と連携したピースセミナー、大規模災害緊急支援カンパ等も実施しています。（裏面「年表」参照）

日韓交流「高陽坡州（コヤンパジュ）ドゥレ生協訪日企画」

2001年度からスタートした韓国・高陽坡州ドゥレ生協との交流は17年目を迎えました。杉戸セットセンター見学交流会、組合員の講師による「日本のおもてなし料理をつくろう」企画、「女たちの戦争と平和資料館」等での見学交流会を通し、互いの生協のことや、両国を学び合う充実した交流になりました。2018年度は、高陽坡州ドゥレ生協への訪韓スタディツアーを予定しています。

おもてなし料理「焼きさば寿司・茶巾寿司づくり」で交流！

パルシステム物流拠点「杉戸セットセンター」を見学

行動する

平和について考え、学び、行動するための
平和活動に取り組んでいます。

沖縄戦跡・基地めぐり

「沖縄、そして日本の平和を考える」をテーマに全国33生協、181名が参加（うちパルシステム東京は14人）。参加者は、2コース（基本コース、辺野古・高江コース）に分かれ、沖縄戦の実相と米軍専用施設が集中する現状を学習しました。参加者からは「沖縄の歴史、沖縄戦、基地問題について、現地に行って改めて知ることができてよかった。これから沖縄について勉強していきたい」等の感想が寄せられました。

安保の見える丘（嘉手納基地）

兵士の手当のために病院として使われた糸数壕（アブチラガマ）

基地問題に揺れる辺野古

身近な戦跡めぐり

原爆が投下された広島や長崎、激しい地上戦が展開された沖縄ばかりが戦争ではなく、私たちの住んでいる東京都で起きた戦争を知ることも大切です。昨年は武蔵村山市、東大和市の戦跡めぐりや江東区の東京大空襲・戦災資料センターで学習を行いました。

東京大空襲・戦災資料センター「夏休み企画」で空襲体験の朗読をする組合員の子ども達

東海林次男氏（東京歴史教育者協議会会長）のガイドで武蔵村山市と東大和市の戦跡めぐり

脱原発運動の推進

子どもたちに豊かな自然と地域を受け渡すため、脱原発運動に取り組んでいます。

主な取り組み

- 「さようなら原発全国集会」への参加
- 柏崎刈羽・大飯・玄海原発の再稼働に反対する意見書等の提出
- さようなら原発1000万人署名活動
- FIT電気（再生可能エネルギー）を中心とした「パルシステムでんき」の推進

主な平和活動（2017.4.1～2018.3.31）

開催日	企画名	参加人数（内訳：組合員参加）
5月22日	2017ピースアクションin TOKYO＆ピースパレード　～つないでつないで　東京から平和を～／ 主催：2017ピースアクション in TOKYO実行委員会	12人（5人） ※8生協、4団体、175人が参加
4月～5月	「書損じハガキ等回収キャンペーン」として国際協力NGO２団体へ協力 シャプラニール＝市民による海外協力の会「ステナイ生活キャンペーン」換金額599万9,121円／寄付件数3,095件 ハンガー・フリー・ワールド「書損じハガキ回収キャンペーン」換金額634万3,681円／寄付件数3,112件	－
6～7月	「ストップ！児童労働キャンペーン2017」（児童労働ネットワーク）に賛同	－
6月10日・6月16日	私たちが送った切手の仕分けボランティアを体験in国際協力NGOハンガー・フリー・ワールド	延べ18人（16人）
6月23日・7月1日	私たちが送った切手の仕分けボランティアを体験in国際協力NGOシャプラニール＝市民による海外協力の会	延べ24人（19人）
6月19日	【平和学習会】谷口真由美さんに聞く！憲法から平和を考える「憲法、読まなソンしますで！」／ 講師 大阪国際大学准教授、Facebook「全日本おばちゃん党」代表代行：谷口真由美氏	181人（151人）
6月24日	【ヒバクシャ国際署名キックオフ集会】核兵器のない社会にむけて～私たちができること～／ 講師 ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー：林田光弘氏、東友会被爆者相談所相談員：村田未知子氏	34人（14人）
7月1日	「パルシステム東京平和活動レポート（2016年度）Pray for Peace」を発行	－
7月15日	ヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアー事前学習会＆オリエンテーション／ 講師 関千枝子氏（ノンフィクションライター・被爆者）	18人（12人）
7月3日～8月11日	「平和カンパ」組合員から寄せられたカンパ843万9,799円を国際協力NGO等7団体へ贈呈	－
7月24日～8月18日	「九州北部豪雨緊急支援募金」組合員から寄せられたカンパ7,865万7,499円（うちパルシステム東京：2,554万4,716円）を国際協力NGOや産地メーカー等7団体、義援金へ贈呈	－
7月31日～9月1日	「ヒバクシャ国際署名」を組合員対象に実施。181,208筆（うちパルシステム東京：41,685筆）を国連へ提出	－
8月～10月	「パルシステム東京平和月間」パルシステム東京の平和の取り組みを総合的に案内	－
8月4日～6日	ヒロシマ平和スタディツアー／主催：日本生協連、広島県生協連	13人（10人） ※70生協、1,450人が参加
8月7日～9日	ナガサキ平和スタディツアー／主催：日本生協連、長崎県生協連	9人（6人） ※42生協、600人が参加
8月15日	「お話と紙芝居で戦争の時代をふりかえる」～東京大空襲・戦災資料センターで迎える終戦の日～／主催：東京大空襲・戦災資料センター	48人（36人）
9月2日	ピースフェス2017～世界を変える！平和のアクション～／トークセッション：安田菜津紀氏（フォトジャーナリスト）、谷山博史氏（ＪＶＣ代表）、平和スタディツアー参加者報告会、関千枝子氏からのメッセージ、４つのＮＧＯによる国際支援活動をテーマにしたワークショップ、平和カンパ贈呈先団体等によるワールドバザール、安田菜津紀写真展	127人（73人）
9月16日	東大和市で空襲があったことを知っていますか～専門家のガイドとたずねる武蔵村山市と東大和市の戦跡～／ 講師 東京歴史教育者協議会会長：東海林次男氏	19人（15人）
9月18日	9.18ともに生きる未来を！さようなら原発 さようなら戦争全国集会／主催：「さようなら原発」1000万人署名 市民の会	30人（12人）
10月18日～20日	【韓国 高陽坡州ドゥレ生協訪日企画】パルシステム物流センター見学＆昼食交流会（18日）、 「日本のおもてなし料理『焼きさば寿司・茶巾寿司』を作ろう！」（19日）、「『平和資料館』に行こう！」（20日）	延べ67人 （ドゥレ生協10人、パルシステム東京組合員24人）
11月11日	「しあわせの経済」世界フォーラム2017in東京【全体会】／ 主催：ローカル・フューチャーズ、「しあわせの経済」世界フォーラム2017in東京実行委員会	880人
11月12日	「しあわせの経済」世界フォーラム2017in東京【ローカリゼーション映画祭】幸せの経済学×食・環境から考えるエシカル 〃　【分科会】ローカル×食・農～「食卓」から創る「未来」～ 〃　【ローカリゼーション映画祭】映画「100年ごはん」×大林千茱萸監督トーク	80人 165人 158人
12月2日	報告会「2017年夏 子どもたちの保養・チェルノブイリと福島」／主催：チェルノブイリ子ども基金、未来の福島子ども基金 後援：パルシステム東京　講師 チェルノブイリ子ども基金事務局長：佐々木真理氏、沖縄・球美の里スタッフ：下野佳津子氏、小児科・すずしろ診療所所長：黒部信一氏、チェルノブイリ子ども基金理事：小寺隆幸氏	61人（12人）
1月27日	再生可能エネルギーが地域を豊かにする～福島の経験から～／主催：アーユス仏教国際協力ネットワーク、ＡＰＬＡ、日本イラク医療支援ネットワーク、後援：パルシステム東京、ミランダ・シュラーズさん講演会実行委員会	50人（35人）
1月29日	【憲法学習会】どうなる？憲法改正～今後の行方と国民投票について考えてみよう～／ 主催：東京都生協連平和活動担当者連絡会　講師 弁護士、明日の自由を守る若手弁護士の会：種田和敏氏	68人（31人）
2月	「ロヒンギャ難民緊急支援カンパ」（組織カンパ）120万円を国際協力NGO等３団体へ贈呈	－
2月18日	【平和学習会】講演「日米外交の視点から見た沖縄問題」と映画「標的の島　風（かじ）かたか」／ 講師 新外交イニシアティブ（ND）事務局長、弁護士、パルシステム東京有識理事：猿田佐世氏	78人（54人）
2月28日	2018ピースアクションキックオフ集会／主催：日本生協連	8人（6人） ※37生協96名が参加
3月3日	オキナワを知ろう！元高校教員によるオキナワ平和学習会～沖縄戦と基地～／ 講師「未来をひらく歴史」学習会講師：塚田勲氏	36人（29人）
3月9日	貧困・格差学習会　女性と子どもの教育～シングルマザー世帯の課題～／主催：東京都生協連平和活動担当者連絡会　講師 放送大学副学長・教授：宮本みち子氏	40人（8人）
3月21日	さようなら原発全国集会「いのちを守れ　くらしを守れ　フクシマとともに」／主催：「さようなら原発」1000万人署名 市民の会	46人（33人）
3月25日	【第五福竜丸建造70周年特別企画】おとなと子どものワークショップ　森で船を描こう！／ 主催：第五福竜丸平和協会　後援：東京都生協連平和活動担当者連絡会　講師 画家・スタジオジブリ美術監督：男鹿和雄氏、樹木医・夢の島熱帯博物館名誉館長：玉木恭介氏、第五福竜丸展示館学芸員：市田真理氏	51人（17人）
3月28日～30日	第35回沖縄戦跡・基地めぐり／主催：日本生協連、沖縄生協連	14人（11人） ※33生協181名が参加

意見書、要請書の提出　●核兵器禁止条約交渉への参加を求める日本政府への要請書を内閣総理大臣に提出（4/27）●意見書「組織犯罪処罰法改正に対し、国民的な論議に基づく、慎重な審議を求めます。」を内閣総理大臣に提出（5/30）●意見書「改正組織犯罪処罰法に対する意見　基本的人権の尊重ならびに、民主主義の原則に基づく国民的議論を求めます。」を内閣総理大臣に提出（7/6）●核兵器禁止条約の批准を求める要請書を内閣総理大臣に提出（7/27）●「電気事業法施行規則」等の一部改正に関する意見を経済産業大臣に提出（8/25）●朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に対する抗議文を北朝鮮国連代表部に提出（9/21）●朝鮮民主主義人民共和国による核実験実施に関する申し入れ要望書を内閣総理大臣に提出（9/21）●「東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所６号炉及び７号炉の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査書案等」に対する意見書を原子力規制委員会に提出（11/1）●関西電力株式会社大飯発電所３号及び４号炉の再稼動に対する抗議文を原子力規制委員会・福井県知事に提出（12/28）●エネルギー基本計画の見直しに向けての要望を経済産業大臣に提出（1/19）●玄海原子力発電所３号機の再稼動に反対する意見書を内閣総理大臣に提出（3/26）

協賛等　●「DAYS JAPAN」DAYS国際フォトジャーナリズム大賞特大号（5月号）に協賛し、広告を掲載●高麗博物館「季政美コンサート」に広告掲載（7/29）●「JVC国際協力コンサート2017」（日本国際ボランティアセンター）に協賛（12/9）●写真展「広河隆一 戦場の子どもたち」（月刊誌「DAYS JAPAN」、NPO法人広河隆一写真展事務局）に協賛（3/8～3/17）

発行日：2018年7月1日　発行：生活協同組合パルシステム東京